

須走中心富士山細密絵図



発行者：各務元諸

年代：天保2（1831）年以降

Detailed picture diagram of Mt.Fuji

Author: Gensyo Kagami

Year: 1831

以须走（位于静岡県）为中心的富士山详细绘图

出版者：各務元諸

时代：天保2 (1831)年以后

本図は、絵図右側に記される内容から、須走口に建てられた「安国高祖大菩薩開会堂」と須走口登山道の一合目から山頂までに安置された神仏を参拝するときの案内図として刊行されたものであることが分かります。「安国高祖大菩薩」とは、日蓮宗の開祖である日蓮上人のことであり、本図は主に日蓮宗信者に向けて頒布されたものとみられます。なお、山頂の絵図に描かれる「法華開会堂」は天保2（1831）年に奉納されたものであることから、本図はそれ以降に制作されたものになります。本図には現在の東京都、神奈川県、静岡県、山梨県という広大な範囲が描かれています。その中で「玉沢妙法華寺」（現、静岡県三島市）が、須走口と同じくらい大きく表現されています。これは、住職の日恒が「法華開会堂」の開眼供養を行うなど深く関わっているためです。

This piece was published as a guide map for visiting Nichiren Shonin's temple and shrines for the Buddhas enshrined between the first station of the Subashiri trailhead and the summit of the mountain.

This map depicts the vast area of present-day Tokyo, Kanagawa, Shizuoka, and Yamanashi prefectures.

本版图从右侧内容开始，记载了须走口的「安国高祖大菩薩開会堂」以及从须走口登山道的一合目到山顶所供奉神社和佛像的参拜指南图标。「安国高祖大菩薩」指日莲宗的创始人日莲上人的事。这幅图主要描画了日莲宗信徒的分布图。此外，由于山顶图中描绘的“法華開会堂”是在天保2年（1831年）供奉的，所以推测这幅版画是1831年之后的作品。可以看出本版图描绘了现在的东京、神奈川、静岡和山梨县的广阔区域。其中，「玉沢妙法華寺」（现位于静岡県三島市）被描绘得与须走口一样大。这是因为住職の日恒法师深入参与「法華開会堂」，并举办了令人大开眼界的法会供奉的缘故。